

令和6年度 第2回川崎市文化芸術振興会議市民ミュージアム部会

日 時 令和7年3月18日(火)

午前10時～

会 場 川崎市役所第3庁舎18階第5会議室

次 第

1 開会

2 館長挨拶

3 議事

- (1) 令和6年度事業報告及び評価について
- (2) 令和7年度事業計画について
- (3) 被災収蔵品の修復活動の状況について(報告)
- (4) その他

4 閉会

【資料】

- 資料1 令和6年度川崎市市民ミュージアム事業報告・評価について
- 資料2 令和6年度川崎市市民ミュージアム事業報告(今回報告・評価を行う事業)
- 資料3 令和7年度川崎市市民ミュージアム事業計画(案)
- 資料4 被災収蔵品の修復について

## 川崎市文化芸術振興会議市民ミュージアム部会委員名簿

○委員

(敬称略：五十音順)

<p>いなにわ さわこ 稲庭 彩和子</p>	<p>独立行政法人国立美術館 国立アートルサーチセンター 主任研究員 新たなミュージアムに関する基本計画懇談会委員</p>	<p>オンライン</p>
<p>なかむら わかな 中村 若菜</p>	<p>はなうた図工室 代表 一般社団法人日本臨床化粧品療法士協会 理事</p>	<p>オンライン</p>
<p>ひらい ひろのり 平井 宏典</p>	<p>和光大学経済経営学部 教授</p>	
<p>ふじしま としえ 藤嶋 俊會</p>	<p>美術評論家 かわさき市美術展懇談会委員 川崎市文化芸術振興会議委員 (親会議)</p>	<p>部会長</p>

令和6年度川崎市市民ミュージアム事業報告・評価について

1 趣旨

川崎市市民ミュージアム(以下「ミュージアム」という。)の活動のさらなる充実を図るため、川崎市文化芸術振興会議の部会である市民ミュージアム部会において、令和6年度のミュージアム事業全般に対する評価を実施する。

2 評価の目的

- (1) ミュージアムの事業全般に対して、外部の学識経験者に客観的かつ多様な視点からの評価を受けることで、ミュージアムの課題を明確化し、運営のさらなる充実につなげる。
- (2) 評価を継続実施することで、中長期的なミュージアム運営の改善につなげていく。
- (3) ミュージアムの事業内容・評価を公表することにより、運営の透明性を高め、ミュージアム事業に対する市民の理解を得る。

3 評価者

川崎市文化芸術振興会議市民ミュージアム部会委員

4 評価方法

令和6年度の実施事業(項目)について、次の(1)及び(2)の評価を実施する。

- (1) ミュージアムによる内部評価(自己点検)として、実施状況・成果等、課題・反省等
- (2) 市民ミュージアム部会委員による外部評価として、意見(評価できる点や課題等)及び評定

※評定 A:十分に達成  
B:概ね達成  
C:達成に至らず

## 令和6年度川崎市市民ミュージアム事業報告及び事業予定

## 目次

1	展覧会・上映会・教育普及（第2回評価対象）	
	(1) 展覧会（企画展）	
	展覧会③ オンライン 路地の記憶	1
	展覧会④ 川崎市制100周年記念展 爆誕!! かわさき100年物語	3
	展覧会⑤ River/Blue 山口幸士 / オンライン River/Blue 山口幸士	7
	展覧会⑥ オンライン 紙すくひと	9
	展覧会⑦ 第58回かわさき市美術展	11
	(2) 上映会	
	上映会② アニメ あ・ら・かると	14
	(3) 教育普及	
	教育普及① ゆたかな学びの場へようこそ 市民ミュージアム講座	16
	教育普及② 史跡めぐり 高津の二ヶ領用歩く	18
	教育普及③ 社会科教育推進事業	20
	教育普及④ スクールプログラム	21
2	資料等の調査、収集・受入、研究、修復に関する業務	22
3	広報に関する業務	
4	収蔵品の外部利用に関する業務	23
5	ミュージアムショップの運営に関する業務	

## 令和6年度川崎市市民ミュージアム事業報告

### 1 覧会・上映会・教育普及（第2回評価対象）

#### (1) 展覧会（企画展）

##### 【展覧会③】

事業名	オンライン 路地の記憶 ヒップホップ的なるものの社会史	
会 期	令和6年7月1日（月）～ 令和7年3月31日（月）	
会 場	市民ミュージアムのwebサイト上に開設した展示空間 「the 3rd Area of “C” —3つめのミュージアム—」にて公開	
コンセプト	本展は、近現代日本における「路地（ストリート）」に焦点を当て、そこから生まれた文化を歴史的にたどる。今夏開催のオリンピックでブレイキンが追加競技として初採用されるなど、世界的な文化となったヒップホップを中心としたストリートカルチャーについて、戦前日本の娯楽から、戦後の高度経済成長そしてアメリカでのヒップホップ文化の誕生から日本への流入定着まで、近現代日本社会の文化的発展を、川崎という軸で接続することを試みるもの。	
ターゲット	ストリートカルチャーに興味がある人、川崎の歴史に興味がある人	
視聴料	無料	
アクセス数	目標：5,000PV	実績：7,039PV（3/11 現在）
展示内容	<p>■ 章構成</p> <p>第1章 戦前日本の路地の記憶</p> <p>第2章 路地の文化 —社会の成熟からヒップホップの定着まで—</p> <p>第3章 21世紀のストリート —世界はカワサキをめざす—</p> <p>■ 展示資料（約40点）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 田口米作「浅草公園凌雲閣之図」</li> <li>・ 写真コンクール「露天商」ほか</li> </ul>	
関連事業	<p>■ ワークショップ</p> <p>「Hop/Colors/Document ～ストリートアートを体験してみよう～」</p> <p>みんなで色を塗って、一つの作品を完成させるワークショップ。</p> <p>日 時：令和6年10月20日（日） 14:00～15:30</p> <p>対 象：小学校6年生以下の子供と保護者</p> <p>料 金：無料</p> <p>会 場：カワサキ文化会館</p> <p>参加者数：23人（申込者数39人）</p> <p>■ 川崎市市民ミュージアム講座</p> <p>「What's Hip? 川崎ストリートカルチャーの平成史」</p> <p>川崎のストリートカルチャーの現代史を読み解く。</p> <p>日 時：令和6年11月2日（土） 14:00～15:30</p> <p>料 金：無料</p> <p>会 場：川崎市役所本庁舎復元棟 205 会議室</p>	

主な広報	(1) ポスター・チラシ：川崎信用金庫、JA セレサかわさき、郵便局、公共施設等 (2) SNS：X、Instagram、Facebook (3) 市政だより (4) 高津区役所：デジタルサイネージ、SNS、YouTube
効果測定	アンケート回収数：展示 43 件 (3/10 時点)、関連事業 15 件 (紙・web)

自己評価	
<実施状況・成果>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・川崎市はストリートカルチャーの聖地であると文化の当事者たちには知られていたが、今夏開催のオリンピックで追加競技として採用されたブレイキンにおいて、高津区溝口を活動場所としていた選手が金メダルを取ったことも要因の一つと考えられるが、昨年のほぼ同時期のオンライン展 (2,499PV) の約 2.8 倍の目標を大きく超える 7,039PV を得ることができた。</li> <li>・バスケットボールをはじめ市内のスポーツ事業者などとも連携し、広報や関連事業の開催など分野を超えた繋がりを構築し活用することで、関連事業のアンケートからも見ても 90% を超える市民ミュージアムの活動を知らなかった参加者に対し、事業を周知することができた。</li> </ul>	
<課題・反省等>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークショップの開催について、会場や講師などの調整に時間を要し十分な広報をすることができず参加者の募集において実施日直前まで苦慮することとなった。参加者の満足度が大変高かっただけに、周知方法について検討の必要がある。</li> <li>・アンケートの回収率が全体の 1% に満たない状態であり、オンライン展のアンケート回収率を向上するための方法を考える必要がある。</li> </ul>	

<外部評価>意見 (評価できる点や課題など) [A：十分に達成 B：概ね達成 C：達成に至らず]	A
<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケートについて、すべてを見終わった後だと回収数は上がらないのではないかと。大項目ごとから答えられるようにするなど、改善の余地は考えられるのではないかと。</li> </ul>	

【展覧会④】

事業名	市制 100 周年記念展 爆誕!!かわさき 100 年物語	
会 期	前期：令和 6 年 10 月 11 日（金）～令和 6 年 12 月 13 日（金） 後期：令和 6 年 11 月 30 日（土）～令和 7 年 2 月 24 日（月）	
会 場	前期：東海道かわさき宿交流館 後期：川崎市大山街道ふるさと館	
コンセプト	<p>本展は、川崎市の市制 100 周年を記念し、今から 100 年前の大正 13（1924）年に川崎市が誕生し、それぞれ異なる歴史を持つ町や村が包含され大都市が「爆誕」する姿を、前期・後期にわけ 2 会場で開催するもの。</p> <p>前期の東海道かわさき宿交流館では、100 年前の川崎市の誕生と周辺の人々の生活を中心に、後期の大山街道ふるさと館では川崎市が周辺町村を巻き込みながら市域を拡張させていく姿とこの地域を貫く南武線の諸相を、約 100 点の資料と共に紹介することで、川崎市の 100 年の歩みをわかりやすく回顧することを目的とするもの。</p> <p>また、若年層や遠方からの集客強化の試みとして、著名な声優である川崎市出身の森川智之氏がナビゲーターを務める音声ガイドの配信を実施する。</p>	
ターゲット	市の歴史に興味がある人、若年層	
観覧料	無料	
入館者数	目標：前期 2,000 人 後期 2,000 人	実績：前期 <u>4,051</u> 人 後期 <u>4,630</u> 人
展示内容	<p>■章構成（展示内容は前期・後期で異なる）</p> <p>第 1 章 川崎市の誕生 第 2 章 広がる市域 第 3 章 戦後の川崎市 第 4 章 人びとの生活</p> <p>■展示資料</p> <p>（約 110 点 当館所蔵：前期 50 点・後期 50 点、他館貸与：後期 10 点）</p> <p>前期：川崎市役所庁舎落成記念アルマイト盆、「ビルの下に行く」等写真資料 後期：レットル「多摩川梨」、南武線関係資料等</p>	
関連事業	<p>■ オンライン史跡めぐり「南武線沿線の魅力を探る」</p> <p>沿線に残るかつての「南武鉄道」の痕跡をオンラインで巡る。</p> <p>日 時：令和 6 年 10 月 4 日（金）～令和 7 年 3 月 31 日（月）</p> <p>料 金：無料</p> <p>視聴者数：目標 1,000PV、 実績 <u>6,988</u> PV</p> <p>■ 川崎市市民ミュージアム講座「川崎市 100 年の物語から」</p> <p>数多くの町村が集まってできた川崎市がどのように形成されたのか展示品を中心に紹介。</p> <p>日 時：令和 6 年 11 月 9 日（土） 10:30～12:00</p>	

料 金：無料

会 場：川崎市役所本庁舎復元棟 205 会議室

参加者数：目標 20 人、実績 24 人

■ 講演会「戦後川崎市の出発－金刺不二太郎市政と都市行政－」

7 期にわたり市長を務めた金刺不二太郎の役割と位置づけを講演。

日 時：令和 6 年 11 月 17 日(日) 14:00～16:00

料 金：無料

会 場：川崎市役所本庁舎復元棟 205 会議室

参加者数：目標 20 人、実績 14 人

■ 講演会「川崎の近代化を支えた知られざる 100 年企業

－水道木管からウッドデッキまで－

川崎市水道の成り立ちを初期の水道管を納入の日本木槽木管株式会社の役割を交えながら講演。

日 時：令和 7 年 1 月 26 日(日) 14:00～16:00

料 金：無料

会 場：大山街道ふるさと館

参加者数：目標 40 人、実績 48 人

■ ギャラリートーク

本展担当学芸員展示資料について解説。

日 時：①令和 6 年 10 月 19 日(土) 15:30～

②令和 6 年 12 月 7 日(土) 15:30～

③令和 7 年 2 月 1 日(土) 15:30～

料 金：無料

参加者数：目標 40 人、実績 40 人 ※3 回合計

■ KAWASAKI しんゆり映画祭 川崎の記録映画上映

川崎市の水道事業に関する記録映画を上映後、学芸員が解説。

日 時：令和 6 年 10 月 31 日(木) 14:15～16:30

料 金：無料

会 場：川崎市アートセンター小劇場

参加者数：目標 150 人、実績 70 人

■ 共創事業連携

1 「写真の中のかわさき」展

川崎市写真コンクールの写真から、街並みや生活の様相を特徴的に捉えたものを地域やジャンルごとに展示を行い、多様な記憶や想像を広げることをめざす。

日 時：令和 6 年 11 月 16 日(土)～令和 7 年 11 月 23 日(土)

会 場：本庁舎復元棟 205 会議室

観覧者数：目標 1,500 人、実績 4,676 人

	<p>2 ワークショップ「Museum Trip 写真の中を旅しよう！」</p> <p>川崎市市民ミュージアム収蔵の1960年代頃の写真をアートコミュニケーターと楽しむワークショップ。</p> <p>日 時：令和6年11月16日(土)、23日(土祝)</p> <p>①10:00～11:30、②14:00～15:30</p> <p>料 金：無料</p> <p>会 場：本庁舎復元棟205会議室</p> <p>参加者数：目標 40 人、実績 40 人</p>
主な広報	<p>(1) ポスター・チラシ：関東圏美術館、大学等、川崎信用金庫、セレサ川崎、郵便局</p> <p>(2) 南武線車内広告</p> <p>(3) 新聞折込：川崎駅周辺、溝の口駅周辺</p> <p>(4) 川崎駅デジタルサイネージ(河川情報掲示板)</p> <p>(5) かわさきFM(ラジオ広告)</p> <p>(6) SNS：X、Instagram、Facebook</p> <p>(7) 市政だより</p> <p>(7) 高津区役所：デジタルサイネージ、SNS、YouTube</p> <p>(8) 音声ガイド</p> <p>アプリ「iMuT(いつでもミュージアム・トーク)」を使用し配信。</p> <p>期 間：令和6年10月11日(金)～令和7年2月24日(月・祝)</p> <p>料 金：無料</p> <p>出 演：森川智之(声優)</p>
効果測定	<p>アンケート回収数 展示：<u>1,024</u> 件(紙・web)</p> <p>音声ガイドダウンロード数 <u>504</u> 件</p>
その他	<p>共催：東海道かわさき宿交流館、川崎市大山街道ふるさと館</p> <p>図録：1,500円(B5判縦 93頁)</p> <p>記念グッズ：レットル多摩川梨デザイントレーナー</p>

自己評価	
<p>&lt;実施状況・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市制100周年記念ということで車内広告や新聞折込など広報に力を入れ、各会場の観覧者数は目標を大きく上回ることができた。</li> <li>・個々の展示会場が狭かったため来場者を満足させることができるのか不安があったが、実際には東海道かわさき宿交流館、大山街道ふるさと館、共創事業連携である本庁舎復元棟205会議室の3か所で展示全体を構成したものとみなすとそれなりの質・量となり、アンケートでもほぼ100%の人が満足という回答を得ることができた。</li> <li>・アンケートから見ると、市外からの入場者が50%を超えており目標としていた遠隔地からの集客は得ることができた。</li> </ul>	

<課題・反省等>

- ・若年層の集客を目指し著名な声優を使った音声ガイドを導入したが、ダウンロード数も 504 件と伸び悩み、アンケートからも 30 代以下の観覧者数は 20%程度となり、広報の方法として今後活用するには検討が必要である。
- ・展示は 2 館+本庁舎で実施したが、会期の重なりが 10 日程度しかなく、全体をまとめてみてもらうことが難しい状況だった。今後複数館で同じ企画展を内容を変え実施する際には、同一の企画展として見るができるよう案内方法や広報の方法について検討が必要である。

<外部評価>意見（評価できる点や課題など）

[A：十分に達成 B：概ね達成 C：達成に至らず]

A

- ・市制 100 周年であることを考えると会期も長いため 2,000 人という目標の設定が低いため、もう少し野心的に高く設定したほうが良いのではと感じる。
- ・会場規模とチラシとのギャップが大きい。100 周年ということもありチラシからはかなり大きい展示会を想像するが、東海道かわさき宿交流館の会場がかなり小規模。場所もなく会場が非常にコンパクトだったことから目標 2,000 人を設定したと推察されるが、チラシをみて来館した人はかなり驚くと思う。展示会タイトルやチラシが魅力的だったため、展示できる空間の確保については今後大きな課題だと思う。
- ・今回の展示資料について、ほとんどがミュージアムのものだと思うが、資料を活用するという点ではよい展示だったと思う。

【展覧会⑤】

事業名	River / Blue 山口幸士 / オンライン River / Blue 山口幸士		
会 期	①令和6年11月19日(火)～12月1日(日) ②令和6年11月23日(土祝)～11月26日(火) ③オンライン：令和7年1月20日(月)～3月31日(月)		
会 場	①川風のガーデン ②AWAZU HOUSE 粟津潔邸 ③市民ミュージアム web サイト上に開設した展示空間 「the 3rd Area of “C” —3つめのミュージアム—」にて公開		
コンセプト	山口幸士は、出身地である川崎をはじめとする都市の風景を多く描く画家であり、山口が描く川崎をはじめとした都市の風景は独自の疾走感と浮遊感を持ち、明るさと同時にどこか寄る辺ない不安定さを感じさせる。作家独自の視点で作品に転換された風景は実在する場所を描いたものでありながら抽象性を帯び、「どこかで見たような風景」として鑑賞者自身の身の回りの風景と重なる作品である。川崎をはじめ普段過ごしている街や都市など、日常の中で出会う風景を新たな視点でとらえることを促す。また、本展では、多摩川や川辺の砂利などをモチーフにした作品も発表し、絵画作品として表現された川崎の姿を通して、鑑賞者が川崎をはじめとした都市の歩みに目を向ける機会とすることを目的とする。		
ターゲット	川崎市民、現代美術に関心のある人		
観覧料 ・ 視聴料	①川風のガーデン：無料 ②粟津潔邸：一般1,500円、高校生・大学生1,000円、小中学生500円 ③オンライン：無料		
入館者数	①川風のガーデン	目標：700人	実績： <u>1,196</u> 人
	②粟津潔邸	目標：300人	実績： <u>357</u> 人
アクセス数	目標：4,000回/PV		実績： <u>888</u> PV (3/10時点)
展示内容	油彩画 ①川風のガーデン：11点 ②粟津潔邸：17点		
関連事業	<p>■フレームで見つけよう！多摩川風景ハンティング</p> <p>多摩川や河原で風景を見て、フレーム（枠）を用いて参加者が各自の好きな場所を見つけ写真撮影を行い発表する。</p> <p>日 時：令和6年11月30日(土) ①10:30～12:00、②13:30～15:00</p> <p>対 象：未就学児～小学生</p> <p>料 金：無料</p> <p>参加者数：目標 <u>40</u> 人、実績 <u>17</u> 人</p>		
主な広報	(1) ポスター・チラシ：全国の美術館、川崎信用金庫、セレサ川崎、郵便局、公共施設等 (2) 川崎駅デジタルサイネージ（河川情報掲示板）		

	(3) 登戸駅柱ポスター (4) 美術手帳 Web バナー広告 (5) SNS : X、Instagram、Facebook
効果測定	アンケート回収数： ① <u>153</u> 件 (web/紙)、② <u>27</u> 件 (web/紙)、 オンライン <u>7</u> 件 (web) (3/10 時点))
その他	共催：AWAZU HOUSE 栗津潔邸 図録：1,500 円 (B5 判横 52 頁) ※展示風景掲載のため、会期終了後にオンラインで販売

自己評価	
<実施状況・成果>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・合計来場者数が目標を上回り、開催趣旨である「作品を展示する場を設け、市民をはじめ多くの方が川崎市ゆかりの作家の美術作品を鑑賞する場を創出する」という点はある程度達成できたと思われる。また、今年度の他の展覧会が南部・中部（川崎区・高津区）で開催だったため、今回北部（多摩区）で実施したことで展覧会事業の実施場所のバランスが取れた。</li> <li>・アンケートによると当館を知らない人が約 50%おり、これまでミュージアムの事業に来場・参加していなかった層に関心を持ってもらえたと考えられる。</li> <li>・アンケートによると来場者は作家と同世代（40 代）かそれ以下（20～30 代）が両会場とも 75%を占め、また、都内からの来場者が多かったことが特徴的であった。作家が若い世代を中心に注目されていることを反映した結果だと考えられる。</li> </ul>	
<課題・反省等>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・栗津潔邸、川風のガーデンともに個人が運営している会場であり、貸出にあたっての料金設定やルール等が定まっていなかったり運営体制等を決める必要があり、想定以上に調整に時間を要し、広報の開始が遅れることになった。</li> <li>・関連事業について、20～40 代をターゲットとした展覧会のチラシに組み込む形で募集内容を記載したため、未就学児～小学生という関連事業のターゲット層には届きにくかったことが理由と考えられる。</li> <li>・オンライン展の PV 数が 900PV と伸びていない理由については、11 月の展示と同じチラシでの告知であったため、1 月半ばに開始のオンライン展自体の周知が足りず件数が伸びなかったことが理由ではないかと思われる。</li> </ul>	

<外部評価>意見（評価できる点や課題など）	B
[A：十分に達成 B：概ね達成 C：達成に至らず]	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・展示する場所がない中で 2 か所を組み合わせるなど工夫があったと思う。川崎市にある文化資源的なものと展覧会を併せるというのもいい試みだった。栗津潔邸はデザインや建築に関わる人は興味を持つ展示だったと思う。広報次第ではさらに入場者数も伸びた可能性がある展示であった。会場での展覧会は会期が短く、オンライン展覧会の会期が長いので、広報の工夫が必要。</li> </ul>	

【展覧会⑥】

事業名	オンライン 紙すくひと	
会 期	令和6年12月13日（金）～令和7年3月31日（月）	
会 場	市民ミュージアムのウェブサイト上に開設した展示空間 「the 3rd Area of “C” —3つめのミュージアム—」にて公開	
コンセプト	<p>古来、紙は記録や今年新たに発行された紙幣をはじめ、生活の日常の様々なシーンで使われてきた。その多くは、明治期に入り機械で大量生産をされるようになった「洋紙」だが、それまでの日本で「紙」と言えば「和紙」を意味した。和紙は約1,500年の伝統をもち、現在でもその美しさと強さから、日本画や木版画用の紙として、また古い文書や美術作品の修復用紙として多くの人に愛されている。</p> <p>本展では、当館の収蔵品や関連資料、被災後に行った修復事例を挙げながら、紙を漉き上げてきた職人、好いて重用した画家たち、傷んだ紙を救おうとする修復家にスポットをあて紹介する。</p>	
ターゲット	工芸（伝統工芸）・修復に興味がある人、日本画や木版画を制作する人、	
視聴料	無料	
アクセス数	目標：1,500PV	実績： <u>3,259</u> PV (3/10時点)
展示内容	<p>■章構成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1章 紙とは・・・原料と工程の解説</li> <li>・第2章 漉くひと、好くひと・・・紙漉き職人と画家たち</li> <li>・第3章 救う人・・・修復家インタビュー</li> <li>・おわりに 紙という言葉</li> </ul> <p>■展示資料（約35点）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・紙の原料、製法等の画像 15点程度</li> <li>・安田靉彦作品画像（当館所蔵）2点程度</li> <li>・画紙製造者への書簡画像 3点程度</li> <li>・浮世絵画像（当館所蔵）5点程度</li> <li>・修復家インタビュー（紙守）／インタビュー関連画像 10点程度</li> </ul>	
関連事業	<p>■講演会「民藝運動と和紙」</p> <p>民藝運動の創始者である柳宗悦が和紙をどう評価していたのか他</p> <p>日 時：令和6年12月14日（土） 13:30～15:00</p> <p>料 金：無料</p> <p>会 場：中原市民館</p> <p>参加者数：目標 <u>20</u> 人、実績 <u>24</u> 人 （応募者数42人）</p>	
主な広報	<p>(1) ポスター・チラシ：全国の美術館・博物館、美術系学校、画材屋、公共施設等</p> <p>(2) SNS：X、Instagram、Facebook</p>	
効果測定	アンケート回収数 <u>17</u> 件 (2/13時点)、関連事業： <u>20</u> 件 (紙・web)	
その他	図録：なし	

自己評価
<p>&lt;実施状況・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケートからは、文章や絵や繰り返し見ることができ理解が深まったなど、オンライン展ならではの良さを感じる声も得ることができた。</li> <li>・関連事業の講演会については、全体の半数が70代以上と、「民藝運動と和紙」というテーマに対する興味を持たれている年配の方に多く御参加いただいたと思われる。</li> <li>・視聴回数は目標を大きく超え、概ね昨年同時期同程度のオンライン展と比較しても一月当たり300PV程度上回ることができた。</li> </ul>
<p>&lt;課題・反省等&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・予定していた展覧会が出来ず急遽計画をした代替展のため、準備期間が短かったこともあり、よりテーマにふさわしい資料（収蔵品）に後で気付くなど残念な点もあった。併せて、内容が少ないという意見もあり、ここにも準備不足の結果が出てきてしまったように思われる。</li> <li>・アンケートの回収率が全体の1%に満たない状態であり、オンライン展のアンケート回収率を向上するための方法を考える必要がある。</li> </ul>

<p>&lt;外部評価&gt;意見（評価できる点や課題など）</p> <p>[A：十分に達成 B：概ね達成 C：達成に至らず]</p>	<p>A</p>
<p>・コロナも収束してオンライン展示だけでなく、栗津邸のように自分が体験できる展示を好む傾向という感覚がある。その中でオンライン展示において目標の2倍を達成したことは評価できる。インスタ等でも動画を使用しての広報などは良かったと思う。リアル展示とオンライン展示を組み合わせで見せられるなどがあると、相乗効果を生み出せるのではないかと感じた。</p>	

【展覧会⑦】

事業名	第 58 回かわさき市美術展																																		
会 期	入選作品展 令和 7 年 2 月 20 日 (木) ～2 月 27 日 (木) 入賞作品展 令和 7 年 3 月 1 日 (土) ～3 月 8 日 (土) 表彰式 令和 7 年 3 月 8 日 (土)																																		
会 場	ミューザ川崎シンフォニーホール 企画展示室																																		
コンセプト	かわさき市美術展 (以下、市美展という。) は、昭和 4 2 年 (1967) から行われている、川崎市の芸術文化活動の振興を目的とした展覧会です。本展では、川崎市に在住、あるいは市内で制作活動をしている人々から作品を公募し、審査の上、入賞及び入選作品を展示することにより、市民が文化芸術活動に主体的に参加し、また鑑賞する機会を広く提供することを目的とする。 また、今回は市制 100 周年を記念し、市制 100 周年特別賞を設置。																																		
ターゲット	平面・彫刻・工芸・書・写真作品などに興味がある人。																																		
観覧料	無料 (応募は有料)																																		
入場者数	目標： 1,800 人	実績： <u>1,783</u> 人																																	
内 容	<p>■部門</p> <p>①平面、②彫刻・立体造形、③工芸、④写真、⑤書、⑥中高生 の 6 部門</p> <p>■応募料</p> <p>(1) 一 般：1 点 2,500 円、2 点 4,000 円          ※障害者手帳等を提示した応募者に対する減額を実施          (減額後の応募料 1 点 1,300 円、2 点 2,000 円)          なお、審査については全応募作品同じ条件のもとで行い、展示の際も障害の有無についての記載等はしない。</p> <p>(2) 中高生：無料</p> <p>■表彰</p> <p>川崎市市政 100 周年を記念し、今回のみ市制 100 周年特別賞を設置</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>賞</th> <th>点数</th> <th>授与品</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全体</td> <td>最優秀賞</td> <td>6 部門を通じて 1 点</td> <td>賞状、賞賜金 30 万円</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">一般</td> <td>優秀賞</td> <td>5 部門を通じて 4 点</td> <td>賞状、賞賜金 10 万円</td> </tr> <tr> <td>奨励賞</td> <td>5 部門を通じて 8 点</td> <td>賞状、賞賜金 1 万円</td> </tr> <tr> <td>審査員特別賞</td> <td>5 部門を通じて若干数</td> <td>賞状</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">中高生</td> <td>コミュゼ川崎大賞</td> <td>1 点</td> <td>賞状、副賞 3 万円分</td> </tr> <tr> <td>優秀賞</td> <td>5 点</td> <td>賞状、副賞 1 万円分</td> </tr> <tr> <td>入選者</td> <td>市民賞 (来場者投票)</td> <td>6 部門それぞれ 1 点</td> <td>賞状</td> </tr> <tr> <td>全体</td> <td>市制 100 周年特別賞</td> <td>6 部門を通じて 3 点</td> <td>賞状、賞賜金 1 万円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※中高生部門副賞は図書カード</p>		対象	賞	点数	授与品	全体	最優秀賞	6 部門を通じて 1 点	賞状、賞賜金 30 万円	一般	優秀賞	5 部門を通じて 4 点	賞状、賞賜金 10 万円	奨励賞	5 部門を通じて 8 点	賞状、賞賜金 1 万円	審査員特別賞	5 部門を通じて若干数	賞状	中高生	コミュゼ川崎大賞	1 点	賞状、副賞 3 万円分	優秀賞	5 点	賞状、副賞 1 万円分	入選者	市民賞 (来場者投票)	6 部門それぞれ 1 点	賞状	全体	市制 100 周年特別賞	6 部門を通じて 3 点	賞状、賞賜金 1 万円
対象	賞	点数	授与品																																
全体	最優秀賞	6 部門を通じて 1 点	賞状、賞賜金 30 万円																																
一般	優秀賞	5 部門を通じて 4 点	賞状、賞賜金 10 万円																																
	奨励賞	5 部門を通じて 8 点	賞状、賞賜金 1 万円																																
	審査員特別賞	5 部門を通じて若干数	賞状																																
中高生	コミュゼ川崎大賞	1 点	賞状、副賞 3 万円分																																
	優秀賞	5 点	賞状、副賞 1 万円分																																
入選者	市民賞 (来場者投票)	6 部門それぞれ 1 点	賞状																																
全体	市制 100 周年特別賞	6 部門を通じて 3 点	賞状、賞賜金 1 万円																																

	<p>■応募・入選入賞作品数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>応募者数</th> <th>応募作品数</th> <th>入選入賞者数</th> <th>入選入賞作品数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第 55 回 (R3)</td> <td>245</td> <td>315</td> <td>111</td> <td>113</td> </tr> <tr> <td>第 56 回 (R4)</td> <td>273</td> <td>351</td> <td>120</td> <td>123</td> </tr> <tr> <td>第 57 回 (R5)</td> <td>273</td> <td>367</td> <td>122</td> <td>124</td> </tr> <tr> <td><b>第 58 回 (R6)</b></td> <td><b>276</b></td> <td><b>376</b></td> <td><b>128</b></td> <td><b>131</b></td> </tr> </tbody> </table>		応募者数	応募作品数	入選入賞者数	入選入賞作品数	第 55 回 (R3)	245	315	111	113	第 56 回 (R4)	273	351	120	123	第 57 回 (R5)	273	367	122	124	<b>第 58 回 (R6)</b>	<b>276</b>	<b>376</b>	<b>128</b>	<b>131</b>
	応募者数	応募作品数	入選入賞者数	入選入賞作品数																						
第 55 回 (R3)	245	315	111	113																						
第 56 回 (R4)	273	351	120	123																						
第 57 回 (R5)	273	367	122	124																						
<b>第 58 回 (R6)</b>	<b>276</b>	<b>376</b>	<b>128</b>	<b>131</b>																						
関連事業	<p>■「かたちと創造-市制 100 周年記念展 かわさき市美術展ゆかりの作家-」展  期：令和 7 年 3 月 1 日(土) ～3 月 6 日 (木)  会場：ミューザ川崎シンフォニーホール 研修室 4  展示作家：圓鏝勝三、岡本太郎、齋藤寿一、渡辺豊重</p> <p>■オンラインセミナー「立体作品の魅力と未来」  配信期間：令和 6 年 10 月 4 日(金) ～令和 7 年 3 月 31 日 (月)  料 金：無料  講 師：角 文平 (現代美術作家)  実績： <u>626</u> PV (2/14 時点)</p>																									
主な広報	<p>(1) ポスター・チラシ：セブンイレブン、美術教室、工房、  公共施設、昨年度応募者ほか</p> <p>(2) かわさき FM (ラジオ)</p> <p>(3) SNS：X、Instagram、Facebook</p> <p>(4) 教育だより、市政だよりほか</p>																									
効果測定	アンケート回収数： <u>878</u> 件 (紙・web) ※現在集計中																									
その他	<p>■かわさき市美術展懇談会の設置 (学識経験者等から意見聴取)</p> <p>■協賛：川崎信用金庫、セレサ川崎農業協同組合</p> <p>■後援：川崎市教育委員会、かわさき FM (79.1MHz)</p>																									

自己評価	
<実施状況・成果>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・今回は市制 100 周年を記念して市制 100 周年特別賞を設置した。出品作品の中にはこの賞の受賞を目指して川崎に特化した作品を出されたものもあった。</li> <li>・市制 100 周年の特別感や日々の広報活動によって出品者数は増加しており、新規のほか、常連の出品者が各部門ある程度見受けられ、ミューザかわさきシンフォニーホールでの市美術展も定着してきたと考えられる。</li> <li>・オンラインセミナーについては、昨年の 34PV の倍以上となる 626PV を既に記録することができた。</li> <li>・アンケートについては、展示会場の出口で入場者にお声掛けし回答者に市民ミュージアムオリジナル缶バッジを渡すことで、約 50%の回収率を得ることができた。</li> </ul>	

<課題・反省等>

- ・入賞作品と入選作品を一度に見たいという御意見をいただいているが、現在の展示場所では難しいため、会場の選定も含め検討していく必要がある。
- ・今回は入選が決定後に他の公募展での入選展示が判明し応募規定を満たしていない作品があったことが判明するなど、今後募集要項へのわかりやすい応募規定記載方法の検討も必要と感じられた。

<外部評価>意見（評価できる点や課題など）

[A：十分に達成 B：概ね達成 C：達成に至らず]

B

- ・ミュージアムができるまでは、ミュージア川崎で展示をやることも仕方がない。今回のように100周年の賞や記念の展示など仕掛けを考えながら、公募展を引き続き続けてほしい。

(2) 上映会

【上映会②】

事業名	上映会 アニメ あ・ら・かると いろいろ色のアニメーション	
会 期	令和7年3月22日(土)	
会 場	川崎市総合自治会館ホール	
コンセプト	<p>川崎市市民ミュージアムが平成元(1989)年に、アニメーション作家達と市民が制作した短編映像『アニメ あ・ら・かると』にちなみ、国内外のアニメーションを紹介する上映会の第2弾として、色をテーマにした上映会を開催するもの。また上映作品は染色フィルムをはじめ、色表現に特徴的なアニメーション7作品を選出し、染色のサイレント映画には昨年度好評であった伴奏・活弁をつけ、上映をより楽しめるよう実施。</p> <p>■上映作品</p> <p>【染色のアニメーション】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「なまくら刀(がたな)【新最長版】」※伴奏・活弁つき</li> <li>・「漫画 二つの世界」※伴奏・活弁つき</li> <li>・「春の唄(うた)」※伴奏・活弁つき</li> </ul> <p>【キネマカラー】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「AN EXPRESSION [表現]」※伴奏つき</li> </ul> <p>【最初期の映画カラーフィルムで撮影したセル画のアニメーション】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「色彩漫画の出来(でき)る迄(まで)【サイレント版】」※伴奏・活弁つき</li> </ul> <p>【ダイレクトペイントのアニメーション】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「色彩(しきさい)幻想(げんそう)ー過去のつまらぬ気がかり (Begone Dull Care)」</li> </ul> <p>【国産カラーフィルムで撮影した色セロファンのアニメーション】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「幽霊船(YUUREISEN)【デジタル復元版】」</li> </ul> <p>【川崎市市民ミュージアム オリジナルアニメーション】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「アニメ あ・ら・かると」</li> </ul> <p>■出演 柳下美恵(伴奏)、尾田直彪(活弁)</p>	
ターゲット	川崎市民、ファミリー層、映画ファン	
観覧料	600円	
入館者数	目標：110人	
内 容	7作品(収蔵品2作品、借用品5作品)	
関連事業	<p>■カウントダウン作成</p> <p>さわれるシネマアニメーション本編のカウントダウン用にフィルムに、ダイレクトペインティングで数字を描くもの</p> <p>日 時：令和6年10月31日(木) 13:00~14:00</p> <p>会 場：川崎市アートセンター</p> <p>■ワークショップ「さわれるシネマ」</p>	

	日 時：令和6年11月23日(土・祝) 10:00～15:00 対 象：小学生以上(小学3年生以下は保護者同伴) 料 金：1,000円 会 場：川崎市総合自治会館 参加者数：目標 30 人、実績 23 人 申込 32 人
効果測定	アンケート回収数 関連事業 23 件 (紙・web)

(3) 教育普及事業

【教育普及①】

事業名	ゆたかな学びの場へようこそ 川崎市市民ミュージアム講座	
会 期	令和6年11月2日(土) ①10:30~12:00 ②14:00~15:30 令和6年11月9日(土) ①10:30~12:00 ②14:00~15:30	
会 場	川崎市役所本庁舎復元棟 205 会議室	
コンセプト	市民ミュージアム学芸員が専門分野について分かりやすく解説するもの。6年ぶりのリアル開催により、講師との直接対話で理解を深めながら知識を深めることを目的とする。	
ターゲット	市民ミュージアム所蔵品や学芸員の研究内容に興味のある人	
参加料	無料	
入館者数	目標：80人(各回20人)	実績： <u>85</u> 人
内 容	<p>■講座1「陶芸家 濱田庄司」 人間国宝にもなった陶芸家濱田が、陶芸家になるまでを中心に足跡を辿る。 日 時：令和6年11月2日(土) 10:30~12:00 参加人数：<u>20</u> 人 (申込者数 26人)</p> <p>■講座2「What's Hip? 川崎ストリートカルチャーの平成史」(再掲) 川崎のストリートカルチャーの現代史を読み解く。 日 時：令和6年11月2日(土) 14:00~15:30 参加人数：<u>13</u> 人 (申込者数 18人)</p> <p>■講座3「川崎市100年の物語から」(再掲) 数多くの町村が集まってできた川崎市がどのように形成されたのか展示品を中心に紹介。 日 時：令和6年11月9日(土) 10:30~12:00 参加人数：<u>26</u> 人 (申込者数 43人)</p> <p>■講座4「映画フィルムの魅力 保存と復元を担う技術者の仕事」 映画フィルムの復元をテーマに現像所技術者の仕事や旧作映画の復元技術について解説 日 時：令和6年11月9日(土) 14:00~15:30 参加人数：<u>26</u> 人 (申込者数 36人)</p>	
主な広報	<p>(1) ポスター・チラシ：川崎信用金庫、郵便局、公共施設ほか</p> <p>(2) 新聞折り込み(川崎区)：読売新聞</p> <p>(3) 川崎駅デジタルサイネージ(河川掲示板)</p> <p>(4) SNS：X、Instagram、Facebook</p> <p>(5) 市政だよりほか</p>	
効果測定	アンケート回収数 <u>83</u> 件(紙・web)	

自己評価
<p>&lt;実施状況・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・6年ぶりの対面式での開催だったが、ほぼすべての講座で定員を超える申込みがあり、さらに受講者の約7割が講座のテーマを受講理由としており、学芸員が直接研究内容を講義するという試みに多くの需要があることが確認できた。また、分野を跨いで複数の講座に申込された方も一定数いた。</li> <li>・参加者は50代以上で85%を占めており、中高年齢者層に響くものだったと考えられる。</li> </ul>
<p>&lt;課題・反省等&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度まではオンライン講座として開催しており、6年ぶりのリアル開催だったが応募される人数が読めず、3つの講座で定員を上回る応募があり、会場の都合から多くの方に参加いただけない結果となってしまった。今後は、「まなびの場」への需要を鑑み、開催会場の広さなど申し込み状況によっては定員を変更可能とするなど、応募された方がなるべく参加できるように考えて行く必要がある。</li> </ul>

<p>&lt;外部評価&gt;意見（評価できる点や課題など）</p> <p>[A：十分に達成 B：概ね達成 C：達成に至らず]</p>	<p>A</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育普及の参加希望者は特に50代以上が多く、重要な学びの場になっていることが分かる。アンケートを見ても、ミュージアムにこのような機能を求める方がいる。オンラインからリアルになり、リアル開催への関心が高く応募者が多い。</li> <li>・リアル開催にあたり場所の問題、人手の問題が出てくるため、何人が準備に携わったのかなど、運営面の内容も記載すると評価に加えていけると良いと思う。</li> <li>・学芸員が対面で行う専門分野についてレクチャーを行うこのような場を提供することは、非常に重要なため、継続して開催していただいたい。</li> </ul>	

【教育普及②】

事業名	史跡めぐり 高津の二ヶ領用水を歩く
会 期	令和7年2月2日（日）、9日（日）
会 場	高津区内
コンセプト	川崎の歴史である二ヶ領用水周辺の史跡をめぐることで、川崎市や用水の歴史について学び、用水や周辺の史跡の保全活動に関心と意欲をもってもらうことを目的とする。また、解説時に収蔵品をパネル等で紹介することで、当館収蔵品への関心を高めること、また、開催中の「爆誕!!かわさき100年物語展」等の会場へも赴き、展示解説も併せて実施することで、展示と市民ミュージアムの活動の周知も目的とする。
内 容	<p>■日 時：令和7年2月8日（土）、9日（日） 10:00～12:00 ※悪天候のため2/2から順延し2/8に実施</p> <p>■料 金：無料</p> <p>■参加者数：目標 20 人、実績 26 人（申込159人）</p> <p>■主な行程</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平瀬川トンネル</li> <li>・久地円筒分水</li> <li>・濱田橋</li> <li>・大石橋</li> <li>・大山街道ふるさと館（爆誕!!かわさき100年物語見学）</li> <li>・高津図書館</li> </ul>
効果測定	アンケート回収数 26 件（紙・web）

自己評価
<p>&lt;実施状況・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今回は大山街道ふるさと館での「爆誕!!かわさき100年物語」展、高津図書館での「二ヶ領用水」展と関連した史跡めぐりを実施し、行程の中に2か所の展示会場を含め展示解説も行うことで、二ヶ領用水への理解を深めるほか当館の活動の周知にも繋げることができた。</li> <li>・例年通りイヤホンガイドを使用したが、とても役に立った、聞き取りやすかったなど好評を博した。</li> </ul>
<p>&lt;課題・反省等&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今回は読売新聞に掲載されたこともあり市外からの申込も含め定員を大きく超えて応募があったが、道路沿いを歩くことから定員を増やすことも難しかったため、かなりの落選者を出すことになってしまった。今後は実施回数や行程を検討し、応募人数によっては回数を増やすなど対応できるようにすることが必要と思われる。</li> </ul>

<p>&lt;外部評価&gt;意見（評価できる点や課題など）</p> <p>[A：十分に達成 B：概ね達成 C：達成に至らず]</p>	<p>A</p>
<p>・リアルで実施するのは安全面などもあり、人手もかかるので参加者が増やせないというのは理解できる。</p> <p>・無料で実施しているが、定員に対し申込者がこれだけ多いというのは需要があるということ。保険の問題などもあると思うが、500円や1,000円など実費をもらうのはよいのではないかと。費用をとることで費用を払ってでも来たいという人にせよめることができるのではないかと。受益者負担の有料プログラムとして開催し、アルバイトをつけて安全上の対策をするなどしっかりと有料プログラムとして整備するなど、有料開催を検討してもよいのではないかと。</p>	

【教育普及③】

事業名	社会科教育推進事業
会 期	令和6年7月～令和7年3月
会 場	申込みのあった学校
コンセプト	市内の小学4年生を対象に、二ヶ領用水に関する体験学習や実物資料の見学を目的とした来館プログラム「社会科教育推進事業」を長年実施してきたが、被災による市民ミュージアムの休館後、出張授業・資料貸出・教材送付の3種類の事業として継続実施するもの。
内 容	出張授業：当館職員が学校に出向き、校内で授業を実施。 資料貸出：クワ、蛇籠といった出張授業時に使用している資料の貸出。 教材送付：当館で作成した二ヶ領用水の歴史等をまとめた冊子を希望校に配布。 【参考】令和5年度実績 出張授業 46校、資料貸出 4校、教材送付 49校 ■実績 出張授業 <u>49</u> 校、資料貸出 <u>5</u> 校、教材送付 <u>23</u> 校 合計 77校
効果測定	アンケート回収数（紙・web） ・出張授業 <u>34</u> 校 ・資料貸出 <u>2</u> 校、教材送付 <u>12</u> 校（紙・web）

自己評価	
<実施状況・成果>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペーパーレス化推進に伴い、今年度より FAX だけでなく、web フォームによる申込みも開始したことにより担当教諭とメールでやりとりを行うことが可能となり、双方向の調整スピードを上げることができた。今後小中学校での FAX の使用を廃止する動きもあるため、引き続きわかりやすい申込 WEB フォームの準備を行い、利用増進に繋げていきたい。</li> </ul>	
<課題・反省等>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・用水の仕組みや道具については動画を希望する声もあり、当時の様子を動画で再現することは難しいが、どのような動画であれば制作しプログラムの中に組み込むことが可能か、学校側の意見も聴取しながら検討していきたい。</li> <li>・アンケートについて全校からの回収ができていないため、今後の事業改善のため全校回収を実施していく必要がある。</li> </ul>	

<外部評価>意見（評価できる点や課題など） [A：十分に達成 B：概ね達成 C：達成に至らず]	B
--	---

【教育普及④】

事業名	スクールプログラム
会 期	申込に応じて実施
会 場	申込のあった学校
コンセプト	学校との連携事業として、学芸スタッフが出張し、勾玉作り等の体験や職業紹介等のレクチャー等を実施し、歴史や美術作品、あるいは博物館や美術館そのものに関する知識を得る場や体験する機会を創出するもの。
内 容	<p>■主なメニュー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・勾玉づくり</li> <li>・ゾートロープ（回転のぞき絵）</li> <li>・職業紹介（学芸員の仕事についてのミニ講演・レクチャー）等</li> </ul> <p>【参考】令和5年度実績（7校）</p> <p>勾玉づくり2校、ゾートロープ1校、職業紹介1校、その他3校</p> <p>■実績 勾玉づくり2校、ゾートロープ1校、職業紹介1校、その他2校</p> <p>合計6校（小学校5校、高等学校1校）533人</p>
効果測定	アンケート回収数： 指導者 <u> 5 </u> 件（紙・web）

自己評価	
<p>&lt;実施状況・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度は市内の小中高校に向けて案内の資料（A3 見開き）を制作し配布し、館のwebページの教育普及ページにスクールプログラムの詳細を新たに掲載した。しかし配布資料を見て申し込んだのは2校のみだったため、学校への周知方法と内容を引き続き検討する必要がある。</li> <li>・市内学校や他館へ、当館の事業の広報及び事業の申込に繋げることを目的に、令和5～6年度の教育普及事業をまとめた冊子を制作した。</li> </ul>	
<p>&lt;課題・反省等&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業は学校、その他団体に向けた事業であるが「スクールプログラム」の名称を使用していることから対象が学校のみであると受け止められている可能性がある。そのため、次年度には新たな名称を考える必要がある。</li> <li>・被災以降、中学校からの申込が1校も無いために、今後、中学校の授業に活用できるようなプログラム内容を検討する必要がある。</li> </ul>	

<p>&lt;外部評価&gt;意見（評価できる点や課題など）</p> <p>[A：十分に達成 B：概ね達成 C：達成に至らず]</p>	<p>B</p>
---	----------

## 2 資料等の調査、収集・受入、研究、修復に関する業務

### (1) 調査、収集・受入

市民ミュージアム資料収集方針等に基づき、収集対象となる資料に関する情報を収集し、所有者等の譲渡又は寄贈等の意向の確認等、収集に関して必要となる事項について調査・折衝を実施。また、川崎市市民ミュージアム資料等収集懇談会において、専門家の意見聴取を経て、市が収集をするか否かを決定し、収集を決定した資料等については、受入れを行うとともに台帳へ登載を行った。

R6 収集実績 : 木村伊兵衛写真賞受賞作品及び関連作品 (97 点)  
市内縁の作家の作品 (4 点 : 大矢紀氏 2 点、渡辺豊重氏 2 点)

### (2) 研究

収集・収蔵した資料等について、展覧会や教育普及事業等を行うため、研究等を行った。

### (3) 修復

資料等について、今後の展覧会や上映会で活用及び適切な保管のため、修復等を行った。

※詳細は資料 4 を参照

## 3 広報に関する業務

### (1) 各種広報媒体の作成と活用

各種展覧会、上映会、教育普及事業等について、チラシの作成・配布、市民ミュージアムのホームページや SNS (X、Facebook、Instagram) を通じた情報発信のほか、市政だより、市及び区等の管理するデジタルサイネージ等市広報媒体の記事調整・データ作成を実施。

【掲載実績】(R6 年 4 月～2 月末時点)

内訳	新聞	雑誌・ 情報誌	テレビ・ ラジオ	WEB	サイネージ ほか
展覧会	6	18	11	117	18
上映会	2	4	1	36	2
教育普及	3	1	1	36	2
その他	0	1	1	6	1

### (2) SNS 等投稿実績 (R6 年 4 月～2 月末時点)

内訳	X	Facebook	Instagram	YouTube
フォロワー数	5,564	2,146	1,204	582
投稿数	174	149	137	10

### (3) 市民ミュージアムホームページの管理運営

市民ミュージアムのホームページについて、随時最新情報へと更新を行うなど管理運営を実施。

【市民ミュージアム web 閲覧実績】

参考 R5 : 241,491PV 、 R6 : 286,434PV (3/10 現在)

(4) メディアリレーション

新聞・テレビ等での報道を通じ、展覧会やワークショップなど市民ミュージアムの活動を多くの人に理解を深めてもらうため、随時報道発表資料を作成するとともに、各事業内容に適合した車内広告や雑誌掲載など広報を実施。また、取材対応や番組制作協力を行った。

(5) 川崎市市民ミュージアム年報及び紀要の作成

ア 年報

市民ミュージアムの事業実績のまとめとして、令和6年度版を作成。

イ 紀要

学芸員の研究の成果を各実施事業に活用できるよう、令和6年度紀要を作成。

#### 4 収蔵品の外部利用に関する業務

(1) 貸出し

市民ミュージアムに収蔵または、寄託を受けている収蔵品等について、他の博物館等への貸出しを行うもの。

貸出しにあたっては、「川崎市市民ミュージアム資料貸出し要綱」の規定に基づき、収蔵品の保存状態や貸出先の環境条件等を勘案した後、申込者との調整、著作権等権利関係及び関係書類の確認を行った上で、収蔵品等の館外貸出しを実施するもの。

令和6年度館外貸出実績 4件 (2月末現在)

(2) 特別利用

「川崎市市民ミュージアム観覧料及び特別利用等に関する要綱」の規定に基づき、市民ミュージアムに収蔵または寄託を受けている収蔵品等について、申請に応じ模写、模造、拓本、撮影、原版使用に供するもの。

令和6年度特別利用実績 74件 (2月末現在)

#### 5 ミュージアムショップの運営に関する業務

川崎市市民ミュージアムが作成した刊行物等（図録、オリジナルグッズ等）をオンラインのミュージアムショップで販売。

なお、ショップの運営及び頒布代金の収納事務については、学芸業務受託者に委託。

令和6年度販売実績 509点 623,368円 (2月末現在)

## 令和7年度 川崎市市民ミュージアム事業計画（案）

川崎市市民ミュージアムは令和7年度も、「IN ACTION」を全体テーマに、市内の他施設及びオンラインで展開する展示業務、教育普及事業等の博物館・美術館活動を企画・実施するほか、次のとおり諸事業を推進。

### 1 展覧会・上映会

次の予定に基づき、展覧会及び上映会を市内の他施設において実施予定。

展覧会又は上映会名(仮称)	会 期	会 場
昔のくらし展	令和7年6月～8月	大山街道ふるさと館
袴田京太郎展	令和7年9月～10月	Museum <sup>+</sup> 205
ハマ川崎ー 海と陸の狭間をたどる	令和7年10月～12月	東海道川崎宿交流館 Museum <sup>+</sup> 205
英 伸三展	令和7年12月～ 令和8年2月	市内施設
映画上映会（全3種）	①令和7年9月6日 ②令和7年8月～11月 ③令和8年3月14日	①ラゾーナ川崎プラザソル ②市内施設 ③高津市民館
オンライン展覧会 「the 3rd Area of “C”」 （全3本）	令和7年9月頃 ～ 令和8年3月31日	オンライン

### 2 教育普及事業

ファミリー層、高齢者、障害のある方など、様々な方のニーズに沿ったワークショップを展開するほか、毎年実施している史跡巡りや市民ミュージアム講座、展覧会の関連企画としての講座・ワークショップを実施。併せて、小学4年生を対象とする社会科教育推進事業やスクールプログラムを実施。

### 3 資料等の調査、収集・受入、研究、修復に関する業務

#### (1) 調査、収集・受入

市民ミュージアム資料収集方針等に基づき、収集対象となる資料に関する情報を収集し、所有者等の譲渡又は寄贈等の意向の確認等、収集に関して必要となる事項について調査・折衝を実施。また、川崎市市民ミュージアム資料等収集懇談会において、専門家の意見聴取を経て、市が収集をするか否かを決定し、収集を決定した資料等については、受入れを行うとともに台帳へ登録するもの。

(2) 研究

収集・収蔵した資料等について、展覧会や教育普及事業等を行うため、研究等を行う。

(3) 修復

資料等について、今後の展覧会や上映会で活用及び適切な保管のため、修復等を行う。

4 広報に関する業務

(1) 各種広報媒体の作成と活用

各種展覧会、上映会、教育普及事業等について、チラシの作成・配布、市民ミュージアムのホームページやSNS（X、Facebook、Instagram）を通じた情報発信のほか、市政だより、市及び区等の管理するデジタルサイネージ等市広報媒体の記事調整・データ作成を実施。また、コミュニケーション誌「IN ACTION」を年2回発行予定。

(2) 市民ミュージアムホームページの管理運営

市民ミュージアムのホームページについて、随時最新情報へと更新を行うなど管理運営を実施。

(3) メディアリレーション

新聞・テレビ等での報道を通じ、展覧会やワークショップなど市民ミュージアムの活動を多くの人に理解を深めてもらうため、随時報道発表資料を作成するとともに、各事業内容に適合した車内広告や雑誌掲載など広報を実施。また、取材対応や番組制作協力を行う。

(4) 川崎市市民ミュージアム年報及び紀要の作成

ア 年報

市民ミュージアムの事業実績のまとめとして、令和7年度版を作成。

イ 紀要

学芸員達の研究の成果を各実施事業に活用できるよう紀要を作成。

5 収蔵品の外部利用に関する業務

(1) 貸出し

市民ミュージアムに収蔵または、寄託を受けている収蔵品等について、他の博物館等への貸出しを行うもの。

貸出しにあたっては、「川崎市市民ミュージアム資料貸出し要綱」の規定に基づき、収蔵品の保存状態や貸出先の環境条件等を勘案した後、申込者との調整、著作権等権利関係及び関係書類の確認を行った上で、収蔵品等の館外貸出しを実施するもの。

(2) 特別利用

「川崎市市民ミュージアム観覧料及び特別利用等に関する要綱」の規定に基づき、市民ミュージアムに収蔵または寄託を受けている収蔵品等について、申請に応じ模写、模造、拓本、撮影、原版使用に供するもの。

## 6 ミュージアムショップの運営に関する業務

川崎市市民ミュージアムが作成した刊行物等（図録、オリジナルグッズ等）をオンラインのミュージアムショップで販売。

なお、ショップの運営及び頒布代金の収納事務については、学芸業務受託者に委託。

## 7 令和7年度 市民ミュージアム事業費 予算（市民ミュージアム執行分）

### 【支 出】

項 目	予算額
市民ミュージアム収蔵品修復事業費 (収蔵品修復委託料等)	238,581 千円
市民ミュージアム運営事業費 (学芸業務委託料、収蔵品管理業務委託料等)	451,967 千円
市民ミュージアム施設管理経費 (仮設施設の土地借上料、電気料、水道料、旧施設の施設管理委託料等)	120,880 千円
市民ミュージアム施設整備事業費 (仮設施設における緊急対応経費)	3,960 千円
市民ミュージアム施設事業費 (仮設施設リース料等)	35,060 千円
合 計	850,448 千円

### 【収 入】

項 目	予算額
財産収入（特別利用、自動販売機設置場所の貸付）	287 千円
寄付金	305 千円
諸収入（かわさき市美術展応募料、上映会入場料、ワークショップ受講費、ミュージアムショップ等）	1,778 千円
合 計	2,370 千円

## 川崎市市民ミュージアム 収蔵品レスキューの状況について

川崎市市民ミュージアムは、令和元年東日本台風により地階に設置された収蔵庫が浸水し、建物や設備のみならず収蔵品にも大きな被害が発生しました。

令和6年12月31日現在の収蔵品レスキューの状況は、被災収蔵品総数244,664件のうち、78,805件が修復済となりましたので、定期的な報告としてお知らせいたします。

### 1 収蔵品レスキューのこれまでの経過について（下線：前回からの更新箇所）

#### (1) これまでに支援いただいた団体

文化遺産防災ネットワーク推進会議（10団体）	その他支援・協力団体（8団体）
独立行政法人国立文化財機構	神奈川県博物館協会
独立行政法人国立美術館	日本大学芸術学部写真学科
大学共同利用機関法人人間文化研究機構	東京大学史料編纂所
国立国会図書館	学校法人専門学校 東洋美術学校
公益財団法人日本博物館協会	学校法人帝京大学
公益社団法人日本図書館協会	神奈川地域資料保全ネットワーク
全国美術館会議	学校法人東海大学
全国歴史民俗系博物館協議会	岩手県立博物館
特定非営利活動法人 文化財保存支援機構（JCP）	
一般社団法人国宝修理装演師連盟	

#### (2) レスキュー支援体制（レスキューに入った延べ人数）

委託事業者（指定管理者含む）	川崎市職員	外部支援団体	合計
18,268人	1,904人	4,599人	24,771人

### 2 収蔵品のレスキュー状況（令和6年12月31日現在）（下線：前回からの更新箇所）

分野	収蔵品 総数	収蔵品内訳		被災 収蔵品 総数 ※1	レスキュー状況		
		作品・アーカイ ブズ資料・図書	寄託品		修復済 ※2	修復中 ※3	処分
歴史	42,377	39,696	2,681	29,423	267	119	0
民俗	13,981	13,951	30	13,738	65	136	33
考古	72,072	72,053	19	71,678	70,114	133	0
美術文芸	18,120	18,107	13	9,004	2,556	442	1,844
グラフィック	11,037	11,037	0	11,012	430	110	6,566
写真	33,029	33,029	0	21,309	1,372	79	11,015
漫画	74,503	74,503	0	73,679	1,966	1,937	52,003
映画	13,301	12,808	493	13,301	2,035	828	957
映像	27,238	27,238	0	1,520	0	0	1,129
<b>合計</b>	<b>305,658</b>	<b>302,422</b>	<b>3,236</b>	<b>244,664</b>	<b>78,805</b>	<b>3,784</b>	<b>73,547</b>

※1 レスキュー作業の状況等により、収蔵品数が増減する場合がある。

※2 修復不要を含む。

※3 修復前準備中を含む。

### 3 収蔵品のレスキュー状況概要（令和6年12月31日現在）（★：前回からの更新箇所）

#### 【指定文化財】

現状	資料名等
修復済	<ul style="list-style-type: none"> <li>★市重要歴史記念物[考古]「下原遺跡縄文時代後・晩期出土品」のうち3件（写真1）</li> <li>★市重要歴史記念物[考古]「細山坂東谷古墓出土火葬骨蔵器」のうち11件</li> </ul>
修復中	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市重要歴史記念物[歴史]「古筆手鑑（披香殿）」</li> <li>★市重要歴史記念物[歴史]「旧原家住宅 附 居宅新築諸職人控・上棟式諸事控」</li> <li>★市重要郷土資料 [民俗]「大師河原の漁撈具」のうち「漁業権並ニ入漁権書類綴」など125件</li> <li>★市重要歴史記念物[考古]「下原遺跡縄文時代後・晩期出土品」のうち15件</li> <li>★市重要歴史記念物[考古]「細山坂東谷古墓出土火葬骨蔵器」のうち1件</li> </ul>
応急処置済	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市重要郷土資料 [民俗]「獅子頭」1件</li> <li>・市重要郷土資料 [民俗]「大師河原の漁撈具」のうち329件</li> <li>・市重要歴史記念物[考古]「下原遺跡縄文時代後・晩期出土品」のうち44件</li> </ul>

写真1 市重要歴史記念物[考古] 下原遺跡縄文時代後・晩期出土品



被災前

修復前

修復後

#### 【歴史】

現状	資料名等
修復済	<ul style="list-style-type: none"> <li>★絵図「明和二乙酉年川崎宿船場町絵図」など23件（写真2）</li> <li>★高札 25件</li> <li>★関札 8件</li> <li>★看板 4件</li> <li>★木箱 1件</li> <li>★紙資料「六郷川渡船場書留帳」など80件</li> </ul>
修復中	<ul style="list-style-type: none"> <li>★絵図「川崎宿地租改正地番」など64件</li> <li>★地図「池上新田地番割」など29件</li> <li>★紙資料「池上新田拾ヶ一地面内改反別子作証文帳」など19件</li> <li>★浮世絵「日清韓談判之図」など5件</li> </ul>
応急処置済	<ul style="list-style-type: none"> <li>★紙資料（古文書、浮世絵、瓦版、絵図など）約3,100件</li> <li>・物資料（屏風、建築部材、電化製品など）約490件</li> </ul>
応急処置中	<ul style="list-style-type: none"> <li>★紙資料（古文書）約8,540件</li> </ul>
冷凍保管中	<ul style="list-style-type: none"> <li>・紙資料（古文書）約25箱</li> <li>・紙資料（広報紙、新聞、絵図など）約230件</li> </ul>

写真2 絵図「明和二乙酉年川崎宿船場町絵図」



修復前



修復後

【民俗】

現状	資料名等
修復済	<ul style="list-style-type: none"> <li>★からくり人形 (写真3)</li> <li>★ゼニバコ</li> <li>★絵馬 (「向いめ」など) 10件</li> <li>★板戸 4件</li> <li>★看板 4件</li> </ul>
修復中	<ul style="list-style-type: none"> <li>★絵図「わがいくさぶね」</li> <li>★浮世絵「ネズミ短繫之図」など 10件</li> </ul>
応急処置済	<ul style="list-style-type: none"> <li>★紙資料 (掛軸など) 約 1,140件</li> <li>・物資料 (民具など) 約 13,000件</li> </ul>
応急処置中	<ul style="list-style-type: none"> <li>★紙資料 (御札、掛軸、日誌など) 約 690件</li> </ul>
冷凍保管中	<ul style="list-style-type: none"> <li>・紙資料 (御札、掛軸、日誌など) 約 72箱</li> </ul>

写真3 からくり人形



被災前



修復前



修復後

【考古】

現状	資料名等
修復済 (修復不要含む)	★「浄元寺裏横穴墓群出土銅鏡」など 26 件 (写真 4) ★ 市内出土(黒川地区遺跡群など)の土器片、石器など 1,472 件
修復中	★「久本横穴墓出土鉄製品」など 117 件
応急処置済	・洗浄乾燥済 (5,000 箱)

写真 4 浄元寺裏横穴墓群出土銅鏡



被災前



修復前



修復後

【美術文芸】

現状	資料名等
修復済	<ul style="list-style-type: none"> <li>★渡辺豊重 (「楼蘭」など) 10 点 (写真 5)</li> <li>★斎藤寿一 (「宙`84 反核への証し」など) 24 点 (写真 6)</li> <li>★樋口正一郎「光で色すくう 90」(写真 7)</li> <li>★安田鞞彦 (「神農」など) 2 点</li> <li>★大矢紀「竜飛岬」</li> <li>★まど・みちお 絵日記 220 点</li> <li>★田中岑 (「印象」など) 4 点</li> <li>★斎藤茂 (「奏でる」など) 2 点</li> <li>★重松岩吉「支那人の賭博室」</li> <li>★書籍 (岡本かの子「かろきねたみ」など) 4 点</li> </ul>
修復中	<ul style="list-style-type: none"> <li>★大矢紀「冬韻待春」</li> <li>★結城天童「南国の譜」</li> <li>★圓鏝勝三 (「風見鶏」など) 5 点</li> <li>★まど・みちお 絵日記 276 点</li> <li>★渡辺豊重 (「みどりの中のふたつの白」など) 24 点</li> <li>★田中岑 (「扉」など) 5 点</li> <li>★斎藤寿一 (「青い風」など) 19 点</li> <li>★鈴木俊輔「月が出た」</li> <li>★岡田青慶「八重山の踊り子」</li> <li>★菅野功「ビンとストーブのある静物」</li> <li>★岡信孝「沖縄壺屋画卷」</li> <li>★井川惺亮 (「Peinture」など) 2 点</li> <li>★書簡 (濱田庄司「藤岡様宛」など) 2 点</li> <li>★書籍 (佐藤惣之助「満月の川」など) 4 点</li> <li>★浮世絵 (「東海道六郷渡真景」など) 99 点</li> </ul>

応急処置済	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大矢紀 18 点</li> <li>・石渡風古画稿 約 1,000 点</li> <li>・結城天童作品、関連資料 10 点</li> <li>・佐藤惣之助、岡本かの子 26 点</li> <li>・市内作家（渡辺豊重 26 点、田中岑 109 点、斎藤寿一 53 点、ほか現代作家 22 点）</li> <li>・関連作品、資料（浮世絵・明治期版画など約 700 点）</li> </ul>
応急処置中	★書籍、まど・みちお関連資料など 6 箱
冷凍保管中	・書籍、まど・みちお関連資料など 9 箱

写真5 渡辺豊重「楼蘭」



被災前



修復前



修復後

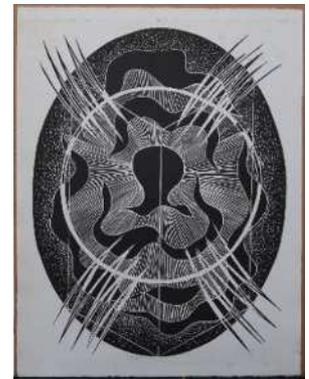
写真6 斎藤寿一「宙`84 反核への証し」



被災前



修復前



修復後

写真7 樋口正一郎「光で色すくう 90」



被災前



修復前



修復後

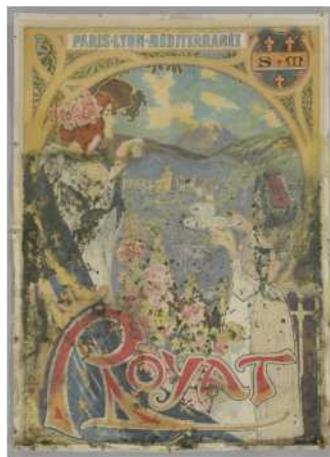
【グラフィック】

現状	資料名等
修復済	<ul style="list-style-type: none"> <li>★アール・ヌーヴォー ポスター (A・トランキエ=トリアノン「ロワイヤ」など) 30点 (写真8)</li> <li>★アール・デコ ポスター (サネ「食前酒 ハイソサエティ (上流社会)」など) 85点</li> <li>★プロパガンダポスター (Z・K「児童愛護週間」など) 34点</li> <li>★外国ポスター (スティック「コミオの自転車部品」など) 9点</li> </ul>
修復中	<ul style="list-style-type: none"> <li>★アール・ヌーヴォー ポスター (フランソワ・フラマン「オペラ グリゼリデイス」など) 8点</li> <li>★アール・デコ ポスター (ウージェーヌ・オジェ「ロージュ祭」など) 44点</li> <li>★プロパガンダポスター (シュヴァルツ「女性労働者と女性集団農場員よ」など) 58点</li> </ul>
応急処置済	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アール・ヌーヴォー ポスター 6点</li> <li>・アール・デコ ポスター 111点</li> <li>・現代版画 401点</li> <li>・プロパガンダポスター 172点</li> <li>・日本の現代ポスターなど 1,596点</li> <li>・オリンピックポスター、外国ポスターなど 811点</li> <li>・マガジンカバー 681点</li> </ul>
応急処置中	★日本の現代ポスター関連資料 1箱
冷凍保管中	・外国ポスターなど 4箱

写真8 A・トランキエ=トリアノン「ロワイヤ」



被災前



修復前



修復後

【写真】

現状	資料名等
修復済	<ul style="list-style-type: none"> <li>★19世紀写真 (「鶏卵紙アルバム」など) 180点 (写真9)</li> <li>★グラフ雑誌 (「ソ連邦建設」) 11点</li> <li>★20世紀写真 (存命作家) (柴田敏雄「福島県南会津郡下郷町 (日本典型)」など) 100点</li> <li>★木村伊兵衛写真賞受賞作品 7点</li> </ul>
修復中	<ul style="list-style-type: none"> <li>★19世紀写真 (「横浜アルバム」など) 9点</li> <li>★グラフ雑誌 (「ソ連邦建設」) 18点</li> <li>★20世紀写真 (存命作家) (松江泰治「KAWASAKI JAPAN 1994 #1」など) 52点</li> </ul>

応急処置済	<ul style="list-style-type: none"> <li>・19世紀写真 51点</li> <li>・木村伊兵衛写真賞受賞作品 183点</li> <li>・グラフ雑誌、写真帖 21点</li> <li>・カメラ機材 10件</li> </ul>
応急処置中	<ul style="list-style-type: none"> <li>・写真帖、雑誌、書籍など 80箱</li> </ul>
冷凍保管中	<ul style="list-style-type: none"> <li>・19世紀写真、20世紀写真など 2箱</li> <li>・写真帖、雑誌、書籍など 2箱</li> </ul>

写真9 鶏卵紙アルバム



被災前



修復前



修復後

【漫画】

現状	資料名等
修復済	<ul style="list-style-type: none"> <li>★漫画原画（岡本一平「世界一周図会」など）580点（写真10）</li> <li>★油彩画（森熊猛「貴賓席」）</li> <li>★漫画雑誌（チャールズ・ワーグマン「ジャパンパンチ 1882年5月号」など）15点</li> </ul>
修復中	<ul style="list-style-type: none"> <li>★漫画雑誌（チャールズ・ワーグマン「ジャパンパンチ 1882年1月号」など）5点</li> <li>★漫画原画（岡本一平「風刺画」など）1,931点</li> <li>★浮世絵「欠伸止め人物更紗」</li> </ul>
応急処置済	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漫画原画 1,268点</li> <li>・油彩画など 67点</li> <li>・漫画雑誌など 3,144点</li> </ul>
応急処置中	<ul style="list-style-type: none"> <li>・亜鉛版 1件</li> <li>★漫画原画など 33箱</li> </ul>
冷凍保管中	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原画、漫画雑誌、書籍など 175箱</li> </ul>

写真10 岡本一平「世界一周図会」



被災前



修復前



修復後

## 【映 画】

現状	資料名等
修復中	★久保一雄スケッチ 827 点 ・ 6mm 音声資料 1 点
応急処置済	・ 今井正「どっこい生きてる」など 982 点 ・ 井手雅人関連資料 493 点 ・ 久保一雄関連資料 3,029 点 ・ 神代辰巳関連資料 89 点 ・ 小川プロ関連資料 2,036 点 ・ 独立プロ映画関連資料（ポスター） 33 点
冷凍保管中	・ 映画監督、脚本関連資料など 24 箱

## 【映 像】

現状	資料名等
応急処置中	・ 実相寺昭雄関連脚本 1 箱
冷凍保管中	・ 映像資料など 11 箱

## 【借 用】

現状	資料名等
修復済	★犬塚勉展作品（油彩画） 1 点
修復中	・ 犬塚勉展作品（油彩画・スケッチ） 2 点